

※一部非公開

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 地域農業工学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

わが国の農業現場における重要な課題については、農業工学分野として、人手確保、農作業の省力化や負担軽減、生産性向上、農業水利施設の老朽化対策、災害や気候変動への対応、自然環境との調和が求められている。持続的な食料システム構築を目指して、ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農業の取り組み、農業経営の最適化・効率化、農業生産基盤の整備、農地保全・防災の取り組みが進められている。

上述の内容を踏まえて、次の(1)～(3)について、記述解答しなさい。

- (1) 自動操舵装置出荷台数とデータを活用した農業経営の動向(図-1)から読み取れることを200字程度で述べなさい。
- (2) 水田の大区画化・汎用化の状況と米穀の1人当たり消費量/年の見通し(図-2)から読み取れることを200字程度で述べなさい。
- (3) 整備前の農地(図-3)を参考にして、スマート農業と農地の生産基盤整備・保全を実施するためにあなたが必要であると考えることとその理由について、600字程度で述べなさい。その際、沖縄の地域性についても加味すること。

(a)

非公開

(b)

図-1 (a)自動操舵装置出荷台数と販売農家戸数の推移, (b)データを活用した農業経営

((a)農林水産省,『自動走行農機等に対応した農地整備の手引き』,農林水産省,2020年,p.2,抜粋・一部改変,

(b)農林水産省,『令和3年度食料・農業・農村の動向』,農林水産省,2022年,p.182,抜粋・一部改変)

(a)

非公開

(b)

非公開

図-2 (a)水田の大区画化・汎用化の状況, (b) 令和4/5年の米穀の消費量の推計

(a)農林水産省, 『令和3年度食料・農業・農村の動向』, 農林水産省, 2022年, p.133, 抜粋,
(b) 農林水産省, 『米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針』, 農林水産省, 2022年, p.3,
抜粋・一部改変)

非公開

図-3 自動走行農機等に対応したほ場整備前のイメージ
(農林水産省, 『自動走行農機等に対応した農地整備の手引き』, 農林水産省,
2020年, p. 17, 抜粋)

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 地域農業工学科

出題の意図

この小論文は、地域農業工学科で学ぼうとする受験生に対して、次のことを評価するものです。

- ・本学科のアドミッションポリシーに関連する内容に強い関心と理解があるか
- ・具体的な事案から問題を取り上げて解決に向けて考える力があるか
- ・農学を学ぶための読解力
- ・論理的な文章を作成する思考力・表現力

【参考】アドミッションポリシー

求める学生像

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- ・農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- ・豊かな農村空間の創出、確かな農村基盤の整備、防災及び農村環境の保全に関心がある人
- ・農と自然との調和に関する工学的探究に興味がある人

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）では特に次のような学生を求めます

- ・農業・農村の環境や農業生産システムに関心があり、社会（または地域社会）に貢献する強い意志をもつ人